

第20回「胃と腸」購読の諸先生全国大会 開かる

第20回「胃と腸」購読の諸先生全国大会は5月21日(日)、札幌市医師会館5階大会議室にて盛大に開かれました。これは、翌22日から札幌市内の北海道厚生年金会館等で開催される日本消化器病学会第64回総会に先立って催されたものです。

大会は、興味ある5例の症例をもとに進行され、20回目の会にふさわしく、日頃、「胃と腸」の誌上によく御執筆の諸先生や、開催地北海道にゆかりの深い先生方が司会者に指名されて診断に加わりました。また、参加者には事前に症例概要が配布され、それをもとにスクリーンのX線像、内視鏡像に論議は集中しました。同時に参加者による「私の診断」投票も行なわれ、その結果の発表をはさみながら、和気あいあいとした雰囲気の中で終了することができました。



第3回「胃と腸」賞 決定

雑誌「胃と腸」では1976年その創刊10周年を記念し、「胃と腸」賞(賞状・賞牌・賞金50万円)を創設致しました。これは「胃と腸」に掲載された全論文中、年間の最優秀論文に贈呈されるものです。選考は「胃と腸」編集委員会にて行なわれます。

第3回「胃と腸」賞は1977年(第12巻)「胃と腸」掲載論文を対象に慎重審議の結果、下記の如く決定しました。なお贈呈式は早期胃癌研究会7月度例会会場(エーザイ新館5階ホール)にて行なわれる予定です。

入賞論文(敬称略)

飯田三雄ほかの下記の業績

- 飯田三雄・八尾恒良・尾前照雄・大里敬一・伊藤英明・渡辺英伸
「家族性大腸ポリポージスの十二指腸病変」(「胃と腸」12巻1号95~103頁)
- 飯田三雄・八尾恒良・大串秀明・尾前照雄・大里敬一・伊藤英明・渡辺英伸
「家族性大腸腺腫症の空・回腸病変—術中内視鏡による検索—」(12巻9号1237~1244頁)
- 飯田三雄・八尾恒良・大串秀明・尾前照雄・大里敬一・伊藤英明・渡辺英伸・水田朝博
「家族性大腸腺腫症の胃病変—その性状と経過を中心として—」(12巻10号1365~1374頁)